◆管内の概況

▼位置・気候

小樽開発建設部が管轄する後志は、北海道の南西部に位置し、北と西は日本海に面し、東は大都市札幌、南部は渡島半島に接しています。気候は、春から夏にかけて温暖で晴天の日が多く、過ごしやすい地域ですが、秋から冬にかけては北西の季節風の影響を受け、風雪が強く、特に羊蹄山麓は道内屈指の豪雪地帯です。

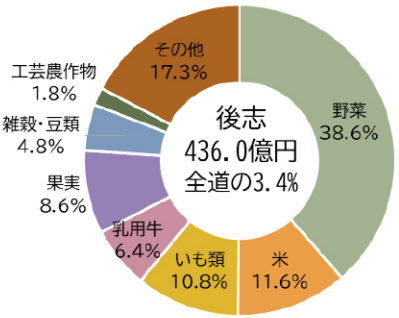
▼後志の『食』

管内の農業は、水稲、畑作物をはじめ、野菜、果樹、酪農など幅広い分野の生産が行われ、「北海道農業の縮図」と呼ばれるほど、農家の経営形態は多岐にわたっています。また、近年は醸造用ブドウの作付けが増加しており、令和6年2月現在28のワイナリーが開設されています。管内の漁業は、かつてはニシン、現在はナマコ、ウニ、ホッケ等の漁獲に支えられています。また、安定した資源の維持増大を図るため、サケをはじめとする種苗放流により作り育てる漁業の取組が進められています。

▼後志の『観光』

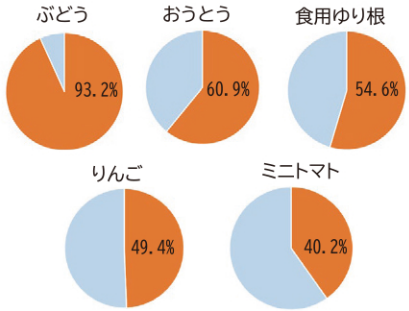
管内は、国内外から年間1,540万人余り（観光入込客数）の観光客が訪れる北海道を代表する観光エリアです。世界有数のスキーリゾート地であるニセコエリアを中心に、オーストラリアやアジア圏からの多くの宿泊客で賑わいます。それに伴い、ニセコエリアには大手外資系ホテルの新規参入が続き、後志の世界的な観光地化への動きが活発になっています。

●後志の農業産出額の内訳



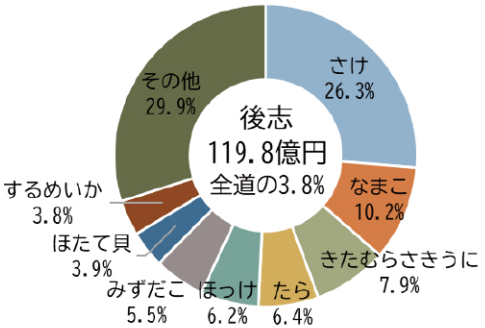
出典：令和2年度市町村別農業算出額（農林水産省）

作付け面積道内1位の農作物



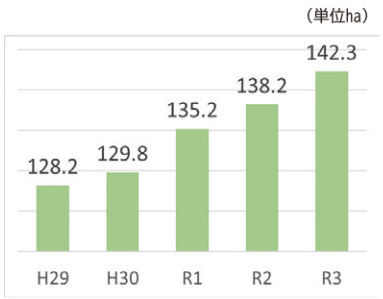
出典：後志の農業2023

●後志の漁業生産高魚種別構成



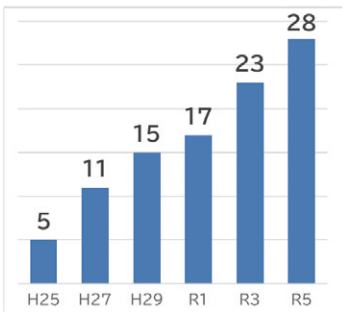
出典：令和4年北海道水産現勢（北海道水産林務部）

●後志の醸造用ぶどう栽培面積



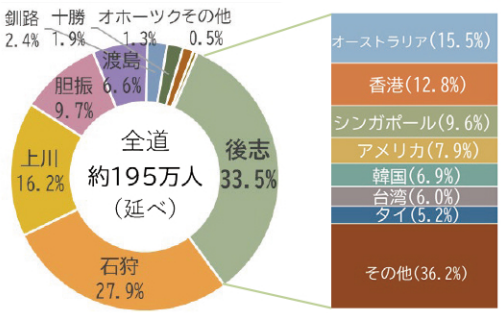
データ元：後志総合振興局農務課

●後志のワイナリーの軒数



データ元：後志総合振興局農務課

●訪日外国人宿泊客数（延べ人数）



出典：令和4年度北海道観光入込客数調査報告書（北海道経済部）